Course nur	mber	U-LAS06 10007 LJ43												
Course title (and course fittle in English)	経済学 I Economics I						Instru name and d of affi		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, DAIKOKU KOUJI					
Group Hu	Group Humanities and Social Sciences Field(Classification) J _l			urisprudence, Politics and Economics(Foundations)			
Language of instruction Japanese					C	Old group Grou			Number of c		redits	2		
Number of weekly time blocks				Lectur (Face-	cture face-to-face course)				Year/semesters		2024 • First semester			
Days and periods	Mon.2/Mon.3				_		All students		Eligible students		For all majors			

[Overview and purpose of the course]

規格化された経済学をそのまま祖述するのではなく、経済学の歴史を、おもに貨幣という視角から通覧することによって、経済学への導入を図る。経済学の歴史を通覧すると、マルクス経済学と近代経済学の2つだけでなく、学派の数だけ3つも4つも、あるいはそれ以上に理論が存在することを思い知るであろう。しかしこのことは、理論が時代と地域の特殊性に制約されるという、ありふれた相対主義を意味するわけではない。この講義では、経済学の隣接諸分野をも射程に入れて、異分野にまたがる初学者を経済学に導きいれる工夫をする。それと同時に、経済学のあらたな対立軸を模索することを試みたいと思う。前期の経済学Iでは、経済とは何か、経済人とは何か、貨幣とは何か、という本質的問いを古典古代にまで遡って追究する。

[Course objectives]

教科書化された既成の経済学の断片的知識を習得するのではなく、経済とは何か、貨幣とは何か、 資本主義とは何かという本質を問う姿勢を身につける。前期はおもに、古代・中世にまで遡ること によって、経済(オイコノミア)の源流 = 本質を探ることを目指す。

[Course schedule and contents)]

以下のようなテーマについて、各1~2回で考察する。

1.経済学の方法

考古学と系譜学

共和主義研究、経済人類学、世界システム論

貨幣数量説と貨幣的経済理論

2. アリストテレスと貨幣の無限

シュンペーターとマルクス

プラトン

アリストテレス

3.中世の経済思想

トマス・アクィナス

オレームとコペルニクス

グレシャムの法則

4. 重商主義と貨幣の資本機能

重金主義

貿易差額主義

紙幣重商主義

Continue to 経済学 Ⅰ (2)

経済学 I (2)

なお、必ずしも上記計画通り進まない場合がある。

[Course requirements]

経済学 (大黒担当)の連続した履修が望ましい。

[Evaluation methods and policy]

前期試験の成績による。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

大黒弘慈 『模倣と権力の経済学:貨幣の価値を変えよ(思想史篇)』(岩波書店)ISBN:978-4000253208

大黒弘慈 『マルクスと贋金づくりたち:貨幣の価値を変えよ(理論篇)』(岩波書店)ISBN:978-4000253215

その他、授業中に適宜紹介する。

[Study outside of class (preparation and review)]

比較的早い時期に、経済学史を通覧した簡便な本を通読しておくことが望ましい。経済学史上の古典を一つ選び、講義の進行とともに読み進めると学習効果が上がる。

[Other information (office hours, etc.)]

詳細な授業計画を、初回に配布する予定である。